

Kammerphilharmonie Kyoto

カンマーフィルハーモニー京都

第21回定期演奏会



ドヴォルザーク 交響曲第9番 ホ短調 作品95 「新世界より」
ワーグナー 歌劇「タンホイザー」より

「序曲、大行進曲、エリーザベットの祈り、夕星の歌、フィナーレ」
ワーグナー 楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より
「第一幕への前奏曲」

指揮 富岡 健

ソプラノ 吉岡 仁美 バリトン 田中 勉

合唱 同志社リーダークラッツ OB 会合唱団、滋賀男声合唱団

～～ 友情のコンサート、新たなる一步 ～～

2026年 2月 22日 (日) 14時 開演

13:30 より プレコンサートを開催します

(13時 開場)

京都コンサートホール 大ホール

京都市左京区下鴨半木町 1-26 京都市営地下鉄烏丸線 北山駅下車 1番または3番出口 南へ徒歩 5分

入場無料 / 全席自由 / 整理券不要

お問い合わせ: 神崎 修 090-2067-7088 Kanzaki-elpla@moisregart.com

富岡 健（指揮）



同志社大学法学部在籍時より、京都市交響楽団首席客演指揮者だった若杉弘氏に師事しオーケストラの活動現場で多くの学びを得る。74年の卒業と同時にアメリカミシガン州 Wayne State Univ. の音楽科にて2年間指揮法を研鑽、ドイツ Weimar Franz Liszt 音楽院指揮マスタークラスにも参加。帰国後、オホーツク音楽祭にて小林研一郎氏の夏季セミナーに数年受講。関西二期会、関西歌劇団などのオペラのプロダクションで森正、岩城宏之、井上道義、松尾葉子、天沼裕子らのアシスタントを務めた。01年、大阪室内歌劇場を発足、その設立公演「安藤忠雄設計・光の教会でのアマールと夜の訪問者」は朝日新聞第一面で報じるなど大きな反響を得た。同年、古楽の巨匠 Frans

Brüggen 指揮によるトスカーナ室内管弦楽団の10日間にわたるフィレンツェ周辺都市演奏旅行に帯同を許される。また09年と11年、ルーマニア国立オラディア交響楽団の定期演奏会に客演指揮に招聘された。30数年にわたって大阪芸術大学演奏学科、神戸山手短大音楽学科にて指揮法の講師として後進指導にあたった。14年NPO法人音楽の恵みネットワークを発足し、現在代表理事。17年、合唱・オペラ・オーケストラの多岐にわたる演奏活動に対して京都府合唱連盟大賞受賞。

吉岡 仁美（ソプラノ）



大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。「魔笛」「源氏物語」「ルサルカ」「修道女アンジェリカ」「ポッペアの戴冠」「ベルリンの月」などいずれの作品においても主役、または主要な役で幅広く出演する。「アドリアーナ・ルクヴルール」では関西歌劇団定期公演の他、文化庁アートキャラバン事業グランドオペラフェスティバル in Japan を含む計3度にわたってタイトルロールを熱演し、いずれの公演においても好評を博した。また、近年においては大阪フィルハーモニー交響楽団とも共演を重ねている。「第3回日本のうたコンクール」第2位・大阪市長賞受賞。（特非）関西芸術振興会・関西歌劇団正団員。関西歌曲研究会会員。フラワーコーラス、Consort Ars Nova ヴォイストレーナー。

田中 勉（バリトン）



大阪音楽大学大学院歌劇専攻修了。第1回JSG国際歌曲コンクール入選聴衆特別賞受賞。第22回なにわ芸術祭 新人奨励賞。第20回音楽クリティック・クラブ本賞。大阪舞台芸術賞本賞受賞。大阪府和泉市文化功労賞受賞。オペラの振り出しは「フィガロの結婚」その後、多くのオペラに於いて主役を演じ。1990～1991年文化庁芸術家在外派遣研修員としてウィーン国立音楽大学に留学。帰国後はオラトリオのソリストとしても全国的に活躍中。また2010年「リゴレット」の演唱に対しては文化庁芸術祭優秀賞を受賞。現在、大阪音楽大学声楽科教授、同大学院声楽研究室主任、研究科長。関西歌劇団理事。日本シュベルト協会会員。

同志社リーダー克蘭ツ OB 会合唱団

同志社リーダー克蘭ツは同志社大学の男声合唱団です。同志社大学の男声合唱団といえば同志社グリークラブが有名ですが、神戸中央合唱団の故中村仁策さんを中心に、1933年、グリーから分かれ新しく創立されたのが同志社リーダー克蘭ツです。以来、92年にわたって活動を続けています。OB会合唱団には、おもに関西一円からメンバーが集い、また遠くは岡山や広島から、さらに東京、新潟からの参加もあり、大阪で月2回、厳しくも楽しい合唱練習を重ねています。今回縁あって、10年ぶりにまたカンマーフィルさんの定期演奏会で共演できることになりました。本当に有り難く楽しみにしております。前回を超える「タンホイザー」を目指します。

滋賀男声合唱団

滋賀男声合唱団は、1993年暮れの年忘れコンサートの企画ステージ「日下部吉彦先生の指揮で名曲『月光とビエロ』を歌おう」に結集したメンバーが中心となって、1995年に結成された男声合唱団です。以来ほぼ1年半ごとの定期演奏会を目標に活動が続け、昨年4月には創立30周年記念の定期演奏会を開催しました。2002年に富岡先生を常任指揮者・音楽監督としてお迎えしてからは、びわ湖ホールを会場に、富岡先生の編曲・構成・演出によるミュージカルやオペレッタ作品をメインステージに、懐かしの昭和歌謡からJポップス、アニメソング、各国民謡などバラエティーに富んだ「滋賀男愛唱歌・てんこもり」ステージなど、多彩なプログラムや演出が評判で、「滋賀のばかうけ合唱団」との評判もいただいています。

カンマーフィルハーモニー京都

当楽団は2000年12月に同志社交響楽団OB有志により設立されました。それまでは隔年に開催されるOB会総会でOB有志が集まり演奏を行っていましたが、恒常的なオーケストラを結成しようとの機運が高まり正式に「同志社交響楽団OBオーケストラ」として誕生しました。2007年から「カンマーフィルハーモニー京都」と改称し、より高度なオーケストラ音楽活動を目指し、一般の音楽愛好家も多く参加しています。2014年からは森香織氏を指揮者に迎え、練習に励んでいます。団員は、京都、大阪、兵庫など関西一円から練習に参加し、20代～70代と幅広い世代に亘ります。皆様とともに音楽芸術を体験し、楽しみたいと思っております。